

インド モディ政権：予算案を発表 概要と今後の見通し

ご参考資料 2015年3月3日

モディ政権は、2015年度（2015年4月～2016年3月）の予算案を発表しました。財政再建に向けた現実的な道筋を示す一方、経済成長にも配慮するバランスの取れた内容となりました。予算案の概要と今後の見通しについて、ご説明します。

2015年度予算案の概要： インフラ投資に重点配分

2月28日、モディ政権は2015年度の予算案を発表しました。予算案の中で政府は、2015年度の実質国内総生産（GDP）成長率を前年度比+8.0～8.5%とし、今年度の同+7.4%から加速するとの予想*を示しました。インフレについては、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が2016年1月までの目標とする消費者物価指数（CPI）の前年同月比上昇率6%を下回り、2015年度末までに5%になるとの予想を示しました。また、複雑で経済の効率性低下につながっているとの指摘もある間接税を簡素化させた物品・サービス税（GST）については、2016年4月までに導入する方針が示されました。* 実質GDP成長率は新基準に基づく。

予算案の主なポイントは以下の通りです。

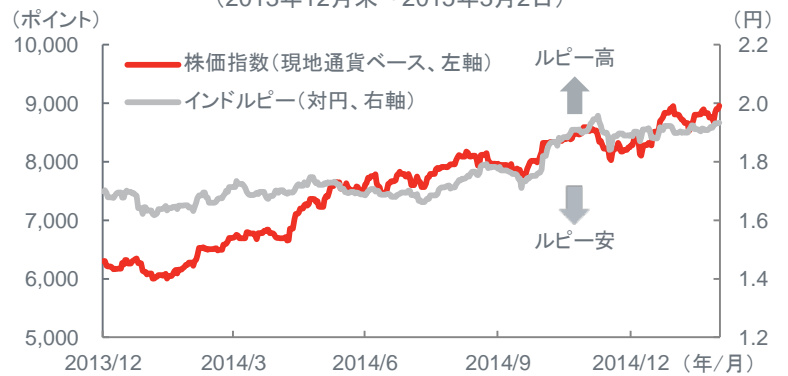
法人税の引下げ	▶ 来年度以降、法人税の基本税率を現状の30%から4年間で段階的に25%まで引下げ。
外国人投資家への税制面での配慮	▶ 外国人投資家向けの債券投資の税率軽減に関する特例措置（源泉税率5%）を約2年延長。 ▶ 今年から施行予定だった課税逃れ防止を目的とした一般的租税回避防止規定（GAAR）の導入を2年延期。
財政赤字削減目標の緩和	▶ 2015年度の財政赤字（対GDP比）目標を、昨年7月の修正予算で掲げた3.6%から3.9%へ若干の緩和（2014年度見込みは4.1%）。 ▶ 2016年度の達成を目指していた対GDP比3%への赤字幅縮小を2017年度までに延期。
インフラ投資拡大	▶ 道路と鉄道向けを中心に投資支出を前年度比約25%引上げ。 ▶ デリー・ムンバイ間産業大動脈構想（DMIC）への配分を約2倍に。 ▶ 道路・鉄道・灌漑関連プロジェクト向けインフラ債券への投資を非課税に。 ▶ 国家インフラ投資基金（NIIF）を設立し、年間2,000億ルピーの資金調達を行う。
各種インフラ整備	▶ 5つの巨大発電所（各4,000メガワット級）を建設。 ▶ 新たに10万kmの道路を建設。

議会での予算案提出に合わせ、インドの証券取引所は土曜日である2月28日に取引セッションを開催し、特別に株式の取引が行われました。同日のCNX Nifty指数は前日比小幅高となり、翌営業日の3月2日も株式市場は続伸しており、今回の予算案の内容が好感されたものと見られます。

今後の見通し： 成長率の加速が期待されるインド経済

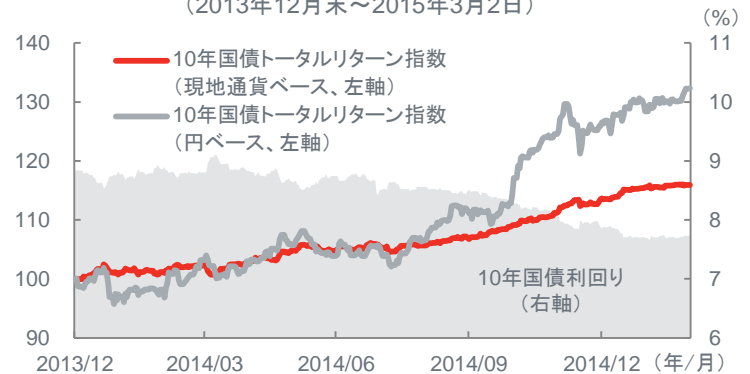
今回の予算案では、財政赤字削減目標はやや緩和されたものの、補助金を削減してインフラ投資に重点的に資金が配分されるなど歳出の質が向上しています。インフラ投資の拡大は短期的な景気刺激策となるだけでなく、税制の簡素化などと合わせて中長期的に経済の構造的な変革につながると考えられ、インド経済は中長期的に成長率が加速するものと期待されます。

インドの株価指数と為替の推移
（2013年12月末～2015年3月2日）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
株価指数はCNX Nifty指数を使用。

インド10年国債トータルリターンと利回りの推移
（2013年12月末～2015年3月2日）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
トータルリターンは2013年12月末を100として指数化。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく今後の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会